

越冬期調査・2016 ～カモ・水鳥類のカウント調査～報告①

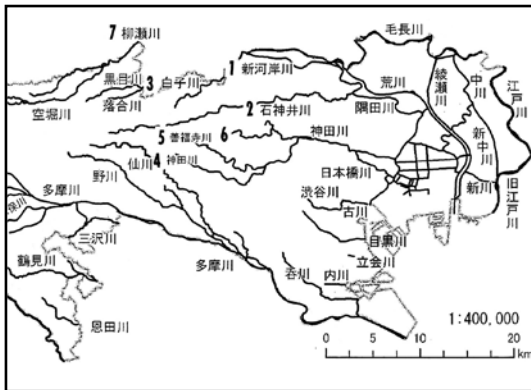
今年1月に実施しました「カモを中心とした個体数調査」、たくさんの方にご参加・ご協力いただき、無事に終了しました。ありがとうございます。2回にわたってその成果の一部を発表いたします。今回は、単独で都内各地の水辺を調査された真下 弘氏(元日本野鳥の会東京支部幹事)の報告から、日ごろあまり関心を持たれない“小河川”の状況を紹介します。

今回表および地図で示した川は、おもに北多摩地区を流れる「一級河川・荒川水系」の支流です。

この水辺には1980年代を中心に、オナガガモが定着し、ユリカモメが東京湾から遡行し、鳥たちがたくさん見られていました。これらの鳥は人からの餌やりに集まる種類で、給餌行為が少なくなった今は数を減らしています。しかし、小型種のコガモやヒドリガモが目立つようになってきました。(川内 博)

◎ 北多摩地区・小河川のカモ・水鳥類

真下 弘



【調査地と調査区間】 調査区間は下流から上流へおもな地点

1. 新河岸川：新志茂(北区)～蓮根～笹目橋(板橋区)
2. 石神井川：音無(北区)～環七～東伏見(西東京市)
3. 白子川：越後山橋(練馬区)～学園橋～井頭公園(練馬区)
4. 神田川：高田馬場(新宿区)～環七～井の頭公園(三鷹市)
5. 善福寺川：神田川合流(杉並区)～環八～善福寺公園(杉並区)
6. 妙正寺川：下落合(新宿区)～環七～妙正寺池(杉並区)
7. 柳瀬川：清流橋(清瀬市)～金山橋～明治薬科大裏(清瀬市)

【単位：羽】

調査日	1月17日	1月9日	1月13日	1月11日	1月12日	1月16日	1月13日	
No. 種名/調査地点	新河岸川	石神井川	白子川	神田川	善福寺川	妙正寺川	柳瀬川	個体数
1 オカヨシガモ	16	1						17
2 ヒドリガモ	455	5						460
3 アメリカヒドリ	2							2
4 マガモ	2	12	1	7	4	3	10	39
5 カルガモ	48	164	71	164	114	76	33	670
6 ハシビロガモ					1			1
7 オナガガモ		104		17	240	42		403
8 コガモ	268	181	28	44	54	95	6	676
9 ホシハジロ	4	1						5
10 キンクロハジロ	3	49		1	2			55
カモ出現合計	798	517	100	233	415	216	49	2328
アヒル雑種カモ			2					

No. 水鳥類	新河岸川	石神井川	白子川	神田川	善福寺川	妙正寺川	柳瀬川	個体数
1 カイツブリ	1						1	2
2 カワウ	9	4		1		1		15
3 ダイサギ					1			1
4 コサギ		8	3	6	9		3	29
5 アオサギ	1						1	2
6 オオバン	126	2						128
7 ユリカモメ	5	55						60
8 カワセミ	1	2	2				3	8
9 セグロカモメ	1	1		1				3
10 オオセグロカモメ	1							1
11 ウミネコ		4						4
12 イソシギ	2						1	3

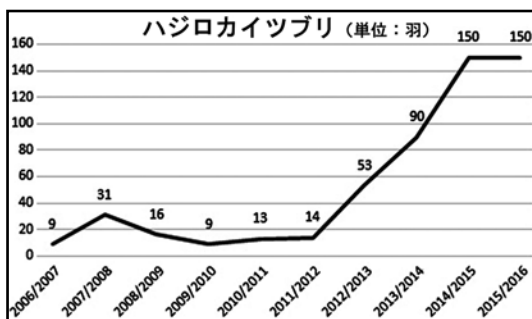
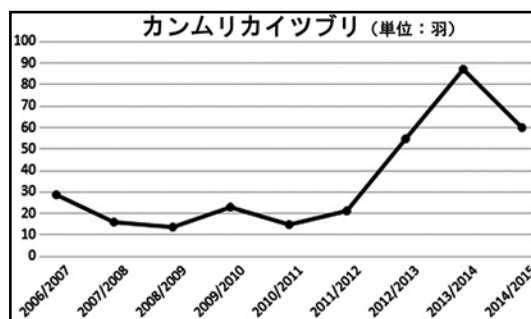
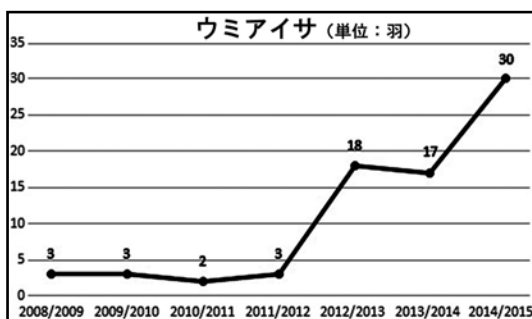
中央防波堤埋立地の鳥について(第4回)

三間 久豊

3. ガンカモ類およびカイツブリ類の調査

ある工事区画で2012/2013年冬を境に、ウミアイサ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリが急増しました。前回のシギ・チドリの項で述べました通り、地下水くみ上げで塩分濃度が下がり、水生生物が増加したからではないかと推測しています。

なおスズガモも多い時は2000羽前後この地区を利用していますが、主に孵らないしは休憩場所としている模様で、採餌行動はほとんど見られません。工事区域に貝類は少ないようです。



追記 中央防波堤埋立地でのハクガン

2015/2016冬にハクガン3羽が荒川の北千住河川敷で観察されましたが、中央防波堤で3回ハクガン幼鳥3羽を記録しています。2月21日・3月13日・4月3日のいずれも午前中で、荒川のハクガンと同じ個体であることは羽衣からも断定できました。おそらく中防を孵にしていたと思われます。中防では警戒心が強く、ここでの採餌は見られませんでした。
《今回が最終回》

研究部レポートの原稿募集

研究部レポートのページは、会員の調査の呼びかけや研究の発表の場です。下記の要領を参考に成果をお寄せください。興味ある行動や生態の写真も募集しています。

【応募要領】

1. 調査・研究対象地は、おもに東京都内としますが、近隣地でも結構です。
2. 調査・研究対象種は、鳥類を主としますが、コウモリ・タヌキなど、東京圏に棲む動物も含めます。
3. 文量はとくに定めませんが、1ページは、約1200字(写真・図などを含んで)です。
4. メ切等はありません。興味をお持ちの方は、研究部まで事前にご相談ください。